令和 7 年度第 2 回市政アンケート調査結果（概要）

第 2 回市政アンケート調査結果がまとまりましたので、その概要を下記のとおりお知らせします。

調査結果（抜粋）　　※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

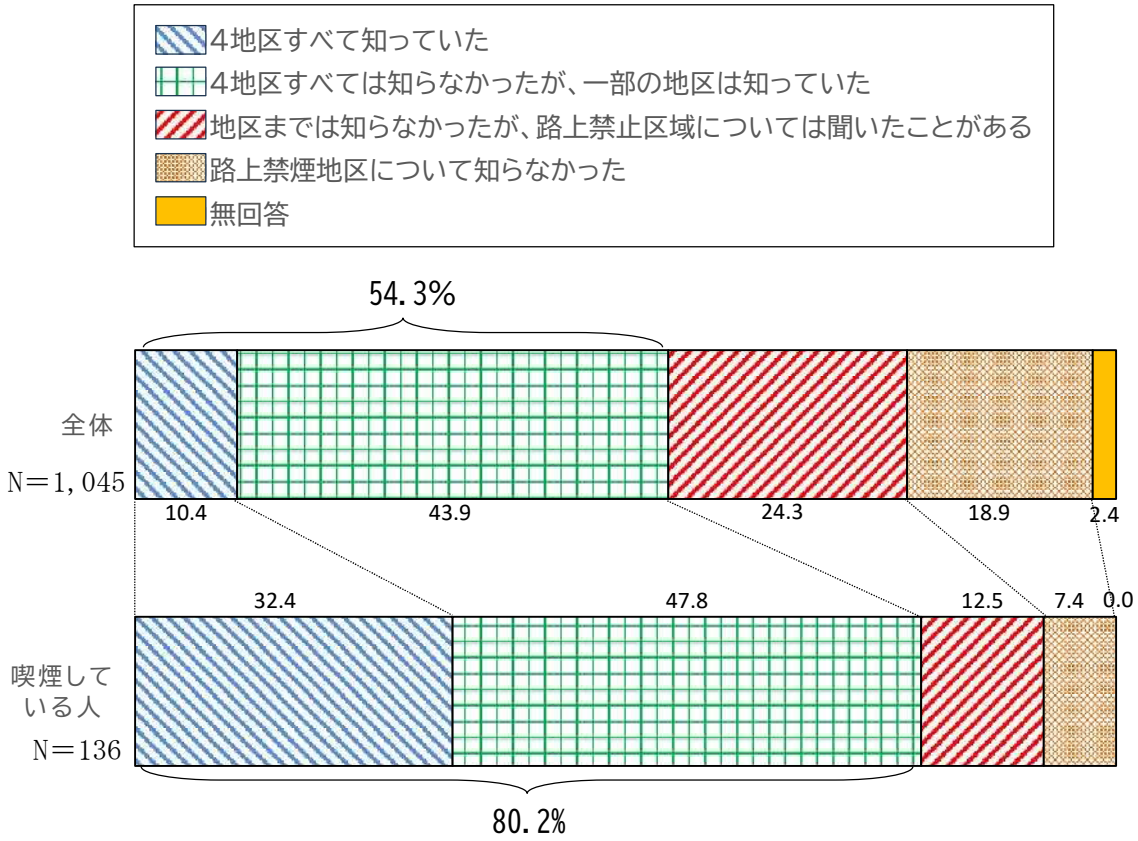
〇テーマ１：路上禁煙の推進について（所管：環境局作業課）

・路上禁煙地区を知っている人は 5 割以上、喫煙している人※で路上禁煙地区を知っている人は約 8 割（問 1、問 6）

※問 1 で「毎日喫煙する」または「たまに喫煙する」と答えた人の合計

名古屋市では 4 地区（名古屋駅・栄・金山・藤が丘）が路上禁煙地区として指定されていることを知っていたかたずねたところ「4 地区すべて知っていた」と答えた人は 10.4%、「4 地区すべては知らなかったが、一部の地区は知っていた」と答えた人は 43.9%で、あわせると路上禁煙地区を知っている人は 54.3%でした。このうち、喫煙している人（全体の 13.0%）で、「4 地区すべて知っていた」と答えた人は 32.4%、「4 地区すべては知らなかったが、一部の地区は知っていた」と答えた人は 47.8%で、あわせると路上禁煙地区を知っている人は 80.2%でした。

今後も効果的な広報啓発活動を行ってまいります。



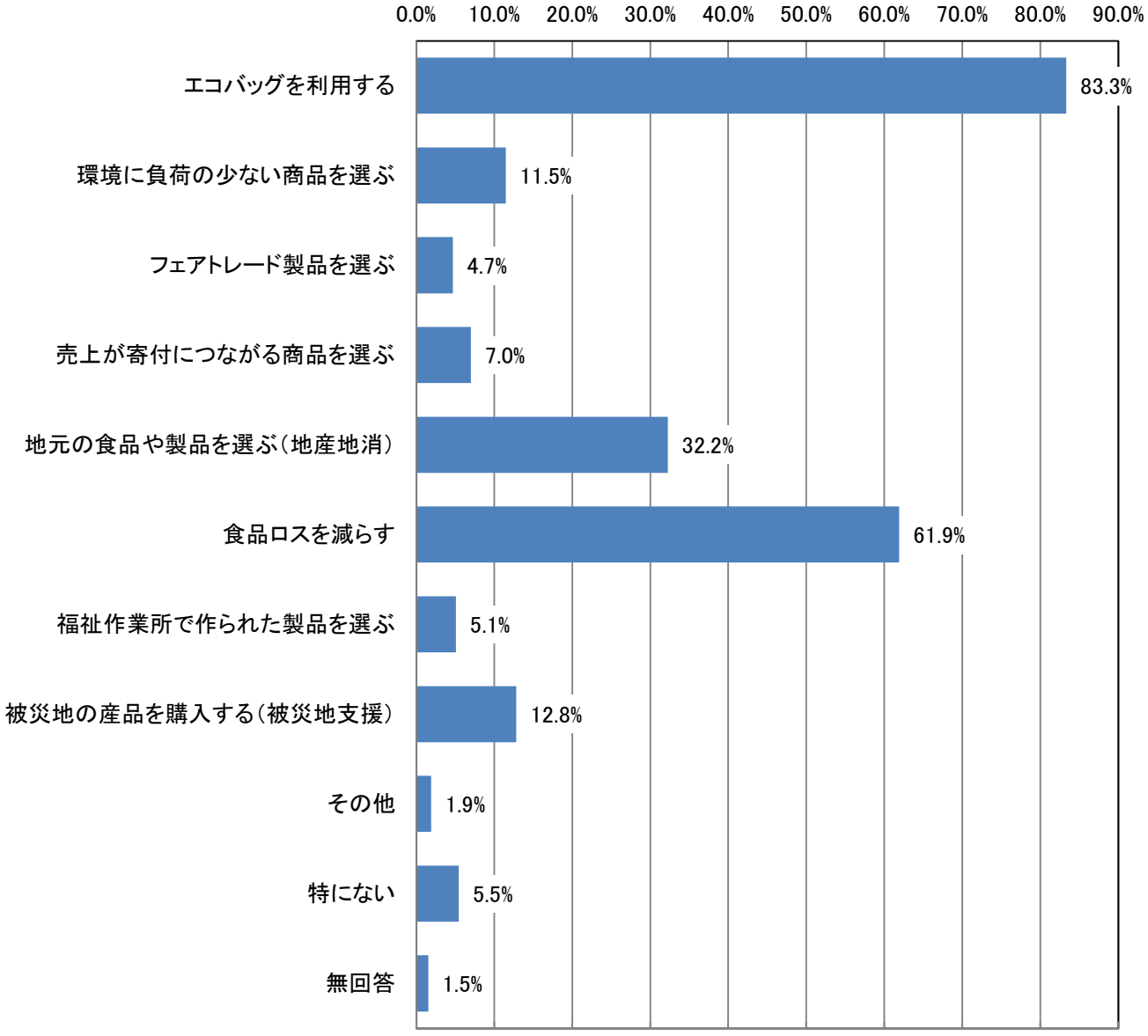
○テーマ２：消費生活について（所管：スポーツ市民局消費生活課）

・消費行動（普段の買い物等）で日常的に心掛けていることは、「エコバッグを利用する」が８割以上（問 14）

消費行動（普段の買い物等）で日常的に心掛けていることは何かたずねたところ、「エコバッグを利用する」が 83.3%と最も多く、次いで、「食品ロスを減らす」が 61.9%、「地元の食品や製品を選ぶ（地産地消）」が 32.2%、「被災地の産品を購入する（被災地支援）」が 12.8%と続きました。

人や社会、環境に配慮した消費行動であるエシカル消費について、引き続き普及啓発を進めてまいります。

N＝1,045

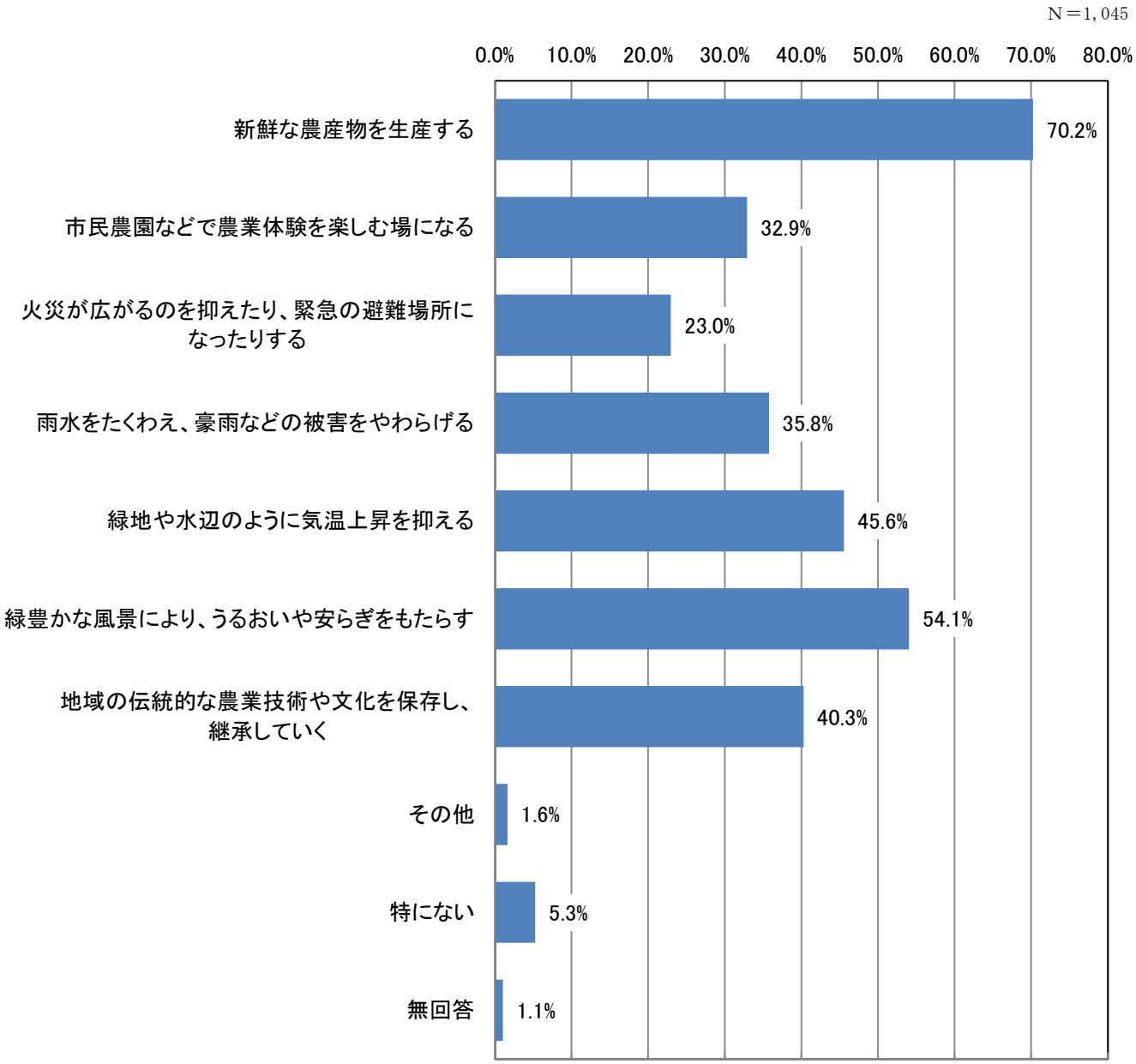


○テーマ３：都市農業の振興について（所管：緑政土木局都市農業課）

・都市の農地や農業に期待することは、「新鮮な農産物を生産する」ことが約７割（問 22）

都市の農地や農業に期待する役割・効果をたずねたところ、「新鮮な農産物を生産する」と答えた人が 70.2%と最も多く、次いで、「緑豊かな風景により、うるおいや安らぎをもたらす」が 54.1%、「緑地や水辺のように気温上昇を抑える」が 45.6%、「地域の伝統的な農業技術や文化を保存し、継承していく」が 40.3%の順でした。農産物の生産の場だけでなく、景観や環境保全、文化といった面についても期待する回答が多くありました。

都市農地が持つ多面的機能が適切に発揮され、市民生活が豊かなものになるよう、今後の都市農業の振興策について検討を進めてまいります。

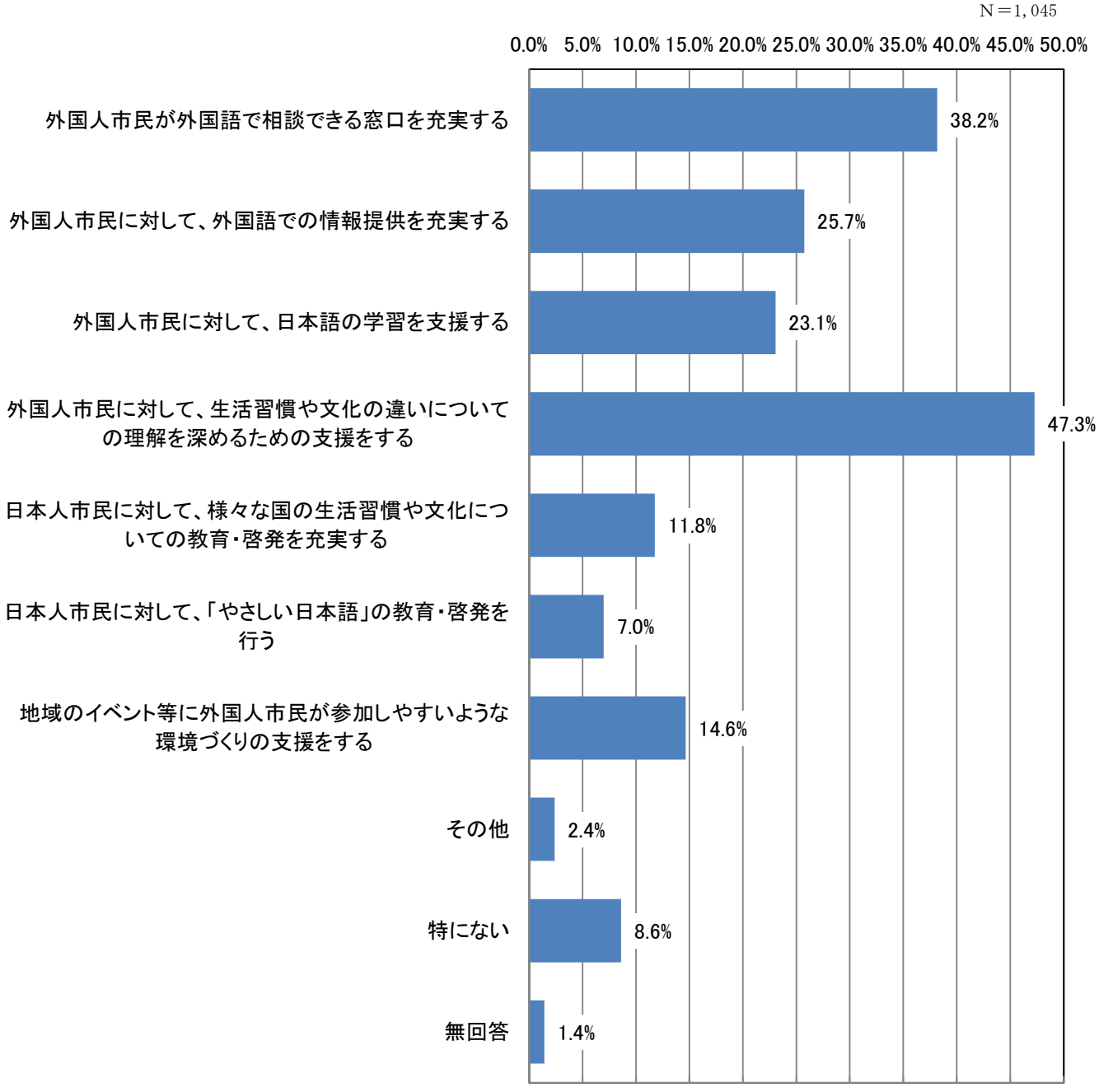


〇テーマ４：多文化共生について（所管：観光文化交流局国際交流課）

・多文化共生のまちを実現するために、効果的だと思う取り組みは、「理解を深めるための支援をする」が約５割（問 30）

多文化共生のまちを実現するために、どの取り組みが効果的だと思うかたずねたところ、「外国人市民に対して、生活習慣や文化の違いについての理解を深めるための支援をする」が 47.3％と最も多く、次いで、「外国人市民が外国語で相談できる窓口を充実する」が 38.2％でした。

外国人市民に対する情報提供の取り組みについて検討を進めていきます。

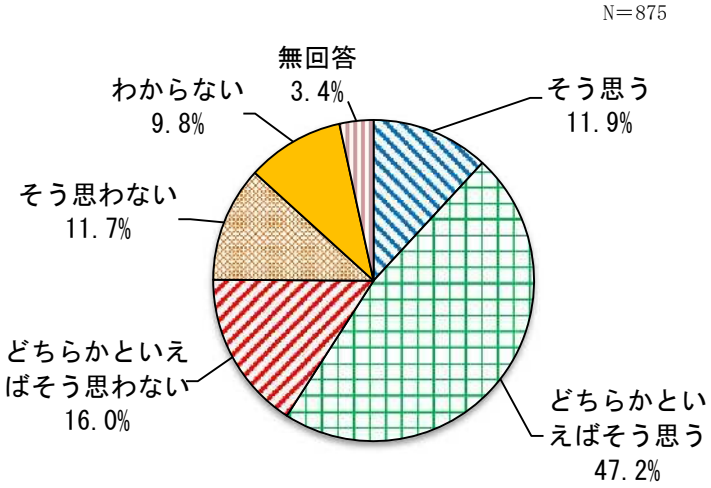


○テーマ５：人権について（所管：スポーツ市民局人権施策推進課）

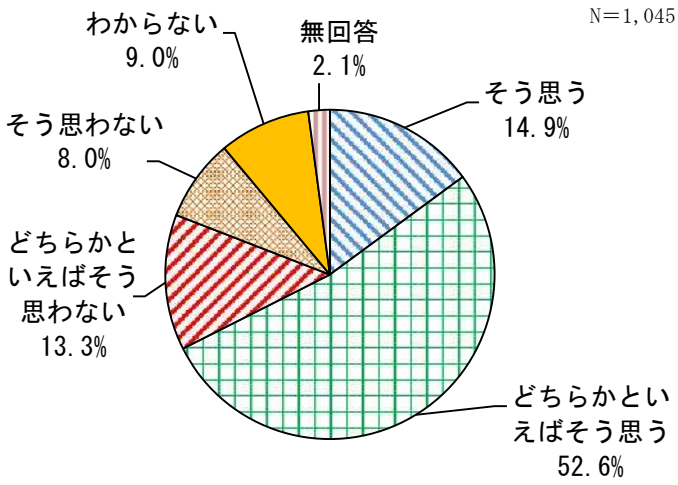
・今の日本が、基本的人権の尊重されている社会だと思う人の割合は約７割（問 34）

今の日本が、基本的人権の尊重されている社会だと思うかたずねたところ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という肯定的な意見があわせて 67.5%でした。令和６年度に実施した市政アンケートの結果が 59.1%であったことと比較すると、8.4 ポイント上昇しているという結果になりました。

結果を受け止め、人権尊重意識が広くいきわたった地域社会づくりを進めるため、さらなる人権教育・啓発を進めるとともに、人権擁護体制を充実するための新たな仕組みづくりを推進してまいります。



令和6年度第2回市政アンケート



令和7年度第2回市政アンケート